

# ヤギレンジャー通信 Vol.2

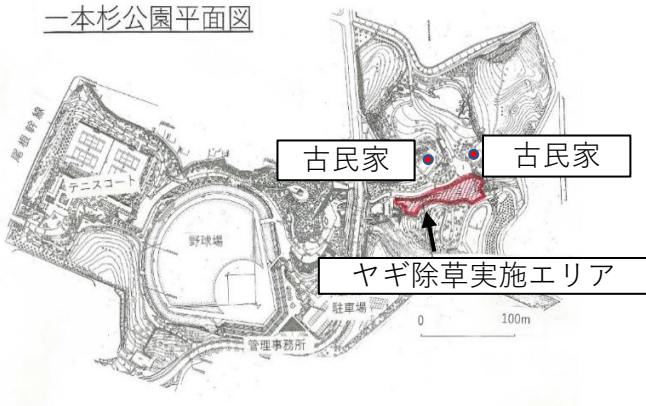
## ヤギレンジャー活躍日記

多摩市南野2丁目の一本杉公園内の古民家前で

6月4日から2頭で活躍を始めました。

多摩市からの受託事業です。

一本杉公園平面図



5月5日(土)に、“こどもまつり2018”で

ヤギエサやり体験イベントを行いました。当日は、

3頭のヤギレンジャーに活躍してもらい、晴天の中、

大変大勢の人たちに体験して頂きました。



ヤギレンタルの会社

αGREEN のご紹介

除草用ヤギを貸し出しているアルファグリーンです。元々私どもの会社は法面（のりめん：人為的に作られた斜面）を緑にして、山が崩れないようにする仕事をしています。

都会にある法面は、景観を維持する目的で年に2～3回程度草刈を行います。法面での除草作業は人間にとって苦渋であり、危険です。一方家畜としてのヤギは、良く人に馴れ、飼いやすく、法面での運動能力に優れた動物です。「貧者の牛」とも呼ばれ、人間が良好なたんぱく質を得るために、日本でも昭和40年代まではとても多く飼育されていました。

家畜を人間の代わりに働かせる（例：馬車など）ことを、畜産の世界では「役畜」といいます。人間にとって苦渋な作業である法面の除草作業を、法面での活躍が得意なヤギにやってもらうことは、方法をよく検討すれば、とても合理的なアイデアなのです。



第10回グリーン購入大賞において、ヤギを利用した既存緑地の除草工(草刈り)とシバ型草地維持管理システムが審査員特別賞を受賞しました。

[www.a-green.org/yagi.html](http://www.a-green.org/yagi.html)

社長の池崎です



# 日常管理と総合管理

- ・日常管理は3日に1回程度の頻度で健康状態をチェック、水槽の水交換、小屋の清掃、電気柵やネット柵等の点検補強等を行います。除草場所をこまめに替え、草が足りなくならないようにしています。
- ・総合管理は月1回程度で日常管理でも行っている健康状態をより詳しくチェックして、寄生虫予防の薬を塗布したりしています。



水槽の水交換



寄生虫の予防薬を塗布

- ・必要によっては削蹄を行う事もあります。  
(削蹄は専門家をお願いしています。)



削蹄



## 第2回：環境と生態



### Q.電気柵は大丈夫？

A.電気柵はヤギに「ここから先は危険だよ」と知らせるために設置しています。電気柵に接触しても静電気でビリッとなるくらいの感じですが、1週間位で電気柵の存在を学習します。管理区域から出ていけないためと、いたずら等ヤギの安全確保のために設置しています。電源は、乾電池8本又は、車のバッテリーを使用しています。

### Q.暑さ対策として何かしているの？

A.休憩や日よけの為の小屋を設置しています。高温注意報が発令された日は、日常管理のほか巡回を行い、水槽の水、健康状態を確認しています。ミネラル補給に鈹塩を置いています。



### Q.仲間外れにされていてかわいそう！

A.ヤギは群れの中で社会的順位を持って生活する習性を持っています。野生でも見られるヤギの本能的なものなので、人間の力ではどうすることも出来ません。なるべく相性の良いヤギでグループにしていますが、仲間外れにされるヤギが出る場合があります。仲間外れのヤギが出た場合はエサを確保したり、入替えなどの対応をしています。

### Q.頭突きはけんか？

A.オスヤギが群れの中で順位を争う本能的な行動です。ヤギは群れる習性を持つと同時に社会的順位を持つ事で個体間隔を保とうとする習性を持っています。

